

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第8回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○地域独自の予算の事業一覧について

(2) 協議事項（公開）

○地域活性化の方向性について（公開）

(3) 自主的審議事項（公開）

○二貫寺の森の活用について

1) 前回会議の振り返り

2) アンケート調査について

3 開催日時

令和5年2月22日（水） 午後7時から午後7時50分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：川上俊一、川上奈津子、川上 久雄（会長）、川室光昭、西嶋 明子
服部幸雄、星野 実、堀川 悦郎、山岸 愛、山岸真也、山岸勝也、
山田 哲平（副会長）（欠席なし）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：川上 俊一委員に依頼
次第2 議題「(1) 報告事項」に入る。
最初に「地域独自の予算の事業一覧について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

まだこれから審議ということだが、資料に記載されている事業が予算要求されているということである。

諏訪でも、例年の団体より提案していただいているため、通るとよいと思う。

(発言なし)

諏訪区では5件で315万2,000円であり、去年は390万円であったため若干少ない。だが、それでもこれだけの金額を予算要求したということであり、皆、やる気になっていると思う。

これはまだ確定したわけではないため、委員の中で留めておいていただきたいと思う。

以上で「地域独自の予算の事業一覧について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料2、資料3に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

では意見をお聞きする。

資料2は事務局が「仕分け」をし、このようなテーマに持っていこうということで一覧にしたものである。

網掛けの仕分けについては、委員より提案いただいたものになるが、自分で考えている仕分けと違うようなところがもしあれば、意見を求めたいと思う。

資料2の左側にある「分野」に合うように仕分けてあると思う。

区分の「Ⅰ 地域の特長」の「1 自然環境保全」「2 景観保全」「3 歴史文化顕彰」、
「Ⅱ 地域の課題」の「1 福祉の充実」「2 防災力の向上」「3 人口減少対策」という分野に分かれて、委員よりいただいた意見を右側の網掛けの部分に分類した。

仕分けについて、「これは違う」といった意見等あれば発言願う。また、提案したのだが記載されていないもの等あれば、それも含めて発言を求めたいと思う。

(発言なし)

記載のような仕分けでよいか。

(よしの声)

次に「構成要素(案)」について、お聞きする。

資料中、分野として「自然環境保全」から「人口減少対策」まで6つのくくりがあり、それぞれの「構成要素(案)」が示されている。

計6本の「構成要素(案)」について、意見のある委員の発言を求めたいと思う。

(発言なし)

全体テーマは「もっと大胆に」という話もあったのだが、うまくまとめていただいていると思う。

構成要素(案)については、これでよいか。この間、急に出た話であるため、ピンとこないところもあるかもしれない。

この構成要素(案)をもとに諏訪の全体テーマを決めて、活性化につなげようということになると思う。

【堀川委員】

地域協議会委員は「地域活性化の方向性」の全体テーマを目にしているが、一般の人が目にする機会はどのような機会があるのか。

【川上会長】

事務局より補足願う。

【藤井係長】

決定したものについては、市のホームページ等で公表はしていくのだが、基本的には「地域協議会委員で共有する」「地域協議会と市で共有する」ということを目的として作成している。それ以上に外に出す予定はないのだが、地域協議会委員で何か使いたいことがあれば、そこはまた別に考えたいと思っている。

【川上会長】

少し抽象的ではあるのだが、堀川委員いかがか。

【堀川委員】

市のホームページを見れば、一般の人も見ることができるということか。

【藤井係長】

そうである。

【堀川委員】

一般の人にも目にすることがあるということになると、全体テーマの中の文言なのだが、いきなり「二貫寺の森や」と入っていることはどうかと思う。他の意見も伺いたい。

【川上会長】

先に構成要素を決めてから、上の「全体テーマ」について意見を聞こうと思っていたが、そこまでいっているため、一緒にいきたいと思う。

今ほど堀川委員より、全体テーマ（案）で「諏訪区に立地する『二貫寺の森』や、」から始まっていることがよいのか・悪いのか、という意見があったのだが、これについて何か意見等あるか。

諏訪地区のシンボルというか、象徴ではあるのだが、その辺をどのように思うのか、ということである。

事務局に確認である。

実際、テーマを決めたからといって、これについてどのように動いていくのかということは、何か地域協議会ではあるのか。

【藤井係長】

今のところは、これについて何か縛りが発生するということはない。

だが、地域協議会で確認したものであるため、いろいろな議論のベースにしていた
できれば整合性が取れるかと思う。

【川上会長】

各地区でいろいろとテーマを決めて進めていこう・統一の課題を持とうということ
だと思う。実際、「これに沿って何かしなければならない」というところまではいっ
ていないが、将来的にはそれに結びつくのかもしれない。

とりあえずは、統一のテーマを決めるということだと思う。

堀川委員の意見について、何か意見等あるか。

(発言なし)

今ほどの堀川委員の意見にあった「二貫寺の森」を入れる否かを含めて、全体的に
記載の文言がよいのか、考えていただきたいと思う。

前回の会議でも、どこの地区も似たような「自然に恵まれた」「田園風景や」とい
ったところがあるのではないか、という意見も出た。だが、そうは言っても諏訪地区
の自然環境は非常に大切であるため、そういったことを印象に入れる必要があるとは
思う。

【山岸 愛委員】

多分、「二貫寺の森」というキーワードがあるから、諏訪のテーマだと分かる。

逆に、これがなければどこの地区の方向性なのか分からず、皆、一緒になってしま
う。そのため、地域の特性が目で見えて分かるという意味でいうと、少なくともここ
にいる自分たちが考える、今後の諏訪区のテーマのメインの1つとして「二貫寺の森」
があるとすれば、他の地域が「大池をいかす」、清里区が「坊ヶ池をいかす」等、各
地域の「財産をいかす」というテーマを掲げてくることを考えると、「二貫寺の森」
を入れることに特に違和感はない。

市のホームページで公開されたときに、例えば、自分たちも馴染みのない区のテー
マを見て興味を引くきっかけになるのだとすれば、諏訪区を知らない人がこのテー
マを見たときに、「二貫寺の森」を知ってもらうきっかけにはなる。

また先ほど話に出た、アンケートで聞いてみてはどうか、という意見には賛成であ
るため、アンケートを取る際に、「こういうことはどうですか」「何か思うことはあり
ますか」等、何か共有できればよいのではないかと思った。

【川上会長】

確かに、これまで諏訪区地域協議会では「二貫寺の森」について話し合ってきたわけだが、「諏訪といえば、二貫寺の森」というところが結び付くのか、それ以外では、「はさ木ロード」「芳澤記念公園」も諏訪のキーワードになると思う。せっかく今まで話し合ってきたこともあるため、「二貫寺の森」を全体テーマの頭に持っていくこともよいのかと思う。

他に意見等あるか。

(発言なし)

「諏訪」から何をイメージするのかということが一番大事なのだが、それをなくしてしまうと、確かにどこの区も皆、同じようなテーマになってしまうような気がする。

資料2に記載の内容で進めてよいか。

(よしの声)

諏訪区をイメージできる「二貫寺の森」という文言を入れて全体テーマを作っていくかと思う。以上で「地域活性化の方向性」に記載する事項の協議が終了した。

以上で次第2議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に次第2議題「(3) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・参考、資料4に基づき説明

【川上会長】

前回の会議でアンケート調査を進めていくことが決定したのだが、どのように進めていくのかについて、意見を求めたいと思う。

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

事務局に確認である。

アンケートの設問については、まだこれから考えるということか。

【藤井係長】

設問の大枠とすれば、「二貫寺の森」と「地域活性化の方向性」の話であり、地域

協議会で考えていただいたことになるかと思う。

具体的な設問については、次回以降の会議で確認いただきたいと思っている。

【川上会長】

アンケートの設問については、これまで委員から出た話をまとめ、それ程多くならないように提案していただきたいと思う。

そして、次回の会議の中で検討してもらうことを考えている。

本日は、資料4の「3 実施方法」について検討する。

3つの調査パターンが提案されている。

前回の会議では、回覧しても世帯主は見るが他は見ないかもしれない、といった意見も出ていた。どうすれば幅広い年齢層から意見を聞くことができるのかも含めて、検討いただきたい。

資料4の「3 実施方法」に記載されている3つのパターンを見て、どのように考えるか、意見のある委員の発言を求めたいと思う。

どの調査方法が一番信頼できる情報が集まるのか、何か意見等あるか。

服部委員、何か意見等あるか。

【服部委員】

自分としては、①の「全数調査」の全戸配布がよいと思っている。

ただアンケート調査にかかる経費はどうなるのか。

【川上会長】

事務局より補足願う。

【藤井係長】

基本的には、郵送料等の計上はないため、配布・回収については事務局で動く、または町内会長に協力をお願いするかたちで考えていきたいと思う。

【川上会長】

結局、地域協議会が各町内会長にお願いして、班長に配布・回収してもらうかたちになると思うため、協力いただかなければいけないということである。

順番に委員に意見を求めたいと思う。

川上 俊一委員より順に発言願う。

【川上 俊一委員】

自分も「① 全数調査」がよいと思うのだが、時間がかかることが難点だと思っている。やはりアンケートを早く集めて、いろいろと検討しなければいけないと思うため、自分としてもどれがよいとはいいい難いが、基本は①だと思っている。

【川上会長】

次に川上 奈津子委員の発言を求める。

【川上 奈津子委員】

「① 全数調査」が理想だとは思っているのだが、やはり配布や回収の方法等、多少の面倒くささがあるというか、大変なように思う。

だが回覧したところで、逆に答える年代が一緒になってしまうようにも思う。

例えば、世帯主が全員回答すると、皆、同じような年齢になってしまう可能性もあるため、逆に「③全数調査」で、小学生や町内会長協議会・老人会、さらに小学生の保護者等を対象にしたアンケートのほうが集めやすく、年齢もばらけるのではないかと思う。

【川上会長】

次に川室委員の発言を求める。

【川室委員】

広く意見を伺うというところでは、「① 全数調査」がよいのかと思う。

ただ、どうしても回収できない・あまり記入がされていない等、うまく回答が得られないケースもあるかもしれないが、基本としては「① 全数調査」がよいと思っている。

【川上会長】

次に西嶋委員の発言を求める。

【西嶋委員】

アンケートを何故取るのかというと、地域の人がどれだけ二貫寺の森に興味・関心があるのか、ということを知るためのアンケートだと思う。アンケート調査をしても、結局戻ってこなければ意味がない。

「① 全数調査」もよいかと思うのだが、調査用紙が「一世帯につき 1 枚」ということになれば、世帯主の人たちの回答は分かるが、どちらかというと、幅広い世代の人たちの二貫寺の森の認知度を知ることができたほうがよいように思うため、自分と

してはそれでも③のほうが世代的に幅があってよいと思う。

【川上会長】

次に星野委員の発言を求める。

【星野委員】

本来であれば「① 全数調査」としたほうがよいと思うのだが、年齢層でアンケートの結果を知りたいとなると「③ 抽出調査（小学生、町内会長協議会、老人会）」のほうがよいのではないかと思う。

「① 全数調査」としても、100パーセント返ってくる期待はないと思う。

全世帯にアンケートを取っても誰が・どの年代の人が回答したのか分からない可能性もある。

やはり、小学生や保護者等にすると、その組織の年代は大体、同じくらいの年齢の人が集まっているように思うため、自分は③でアンケートを取ったほうがよいと思う。

【川上会長】

次に堀川委員の発言を求める。

【堀川委員】

自分も「③ 抽出調査（小学生、町内会長協議会、老人会）」がよいのではないかと思う。

それぞれの団体が、責任を持って回収してもらえるとよいと思う。小学生については、場合によっては小学校で取りまとめてもらってもよいかと思う。

【川上会長】

次に山岸 愛委員の発言を求める。

【山岸 愛委員】

例えば③の「小学生、町内会長協議会、老人会」とした場合、真ん中の世代の意見が聞ける気がしない。

残念ながら、自分のもとにも回ってこない。何にも属していない人たちは、全く知る機会がなくなってしまう。

諏訪区には地区のホームページもある。どうせアンケートを作るのであれば、回覧でもよい。まずは回覧で「興味があればこちらのフォームから回答してください」ということを告知することは悪いことではないと思う。

回収方法として、町内会長協議会や老人会は紙で回収し、その他の住民に対しては回覧を通じて専用フォームで回答を得ることができれば、手間もかからず事務もそれほど煩雑ではなく、興味がある人が答えられる。周りにはいる諏訪区の住民に教えることもできるのではないかと思う。

「どれか」というよりは、よいところ取りをしていくことができればよいと思う。

【川上会長】

しいていうと「① 全数調査」ということか。

【山岸 愛委員】

全数に公開はする、ということである。

【川上会長】

次に山岸 真也委員の発言を求める。

【山岸 真也委員】

「③ 抽出調査（小学生、町内会長協議会、老人会）」の「町内会長協議会」を②の「(町内会三役)」に入れ替えてはどうかと思う。

【川上会長】

次に山田 勝也委員の発言を求める。

できれば、町内会長としての意見も聞かせてほしい。

【山田 勝也委員】

「① 全数調査」が一番よいのかもしれないのだが、先ほども意見があったように、回答者の年齢が偏ってしまう等、いろいろあるかと思う。

③で「(小学生、町内会長協議会、老人会)」とあるのだが、それにプラス「各種団体」を入れてはどうかと思う。

【川上会長】

次に山田副会長の発言を求める。

【山田副会長】

自分も③がよいと思う。

先ほど意見が出た、各種団体等もよいと思う。当然、「小学生、町内会長協議会、老人会」に限定することはないと思う。幅広く、回収が可能な団体にお願いすることは有効かと思う。

例えば、若い世代でいうと、消防団員等も若い意見が吸い上げられるかと思う。

また、小学校に絞ることなく、中学生等、学校であればお願いしやすいかと思う。当然、学校であれば保護者も出てくるため、調査の対象がどんどん増えてよい。

【川上会長】

まとめると、「③ 抽出調査（小学生、町内会長協議会、老人会）」との意見が 7 人おり、一番多かった。

対象としては、「小学生、町内会長協議会、老人会」と記載しているが、これに拘らず、いろいろな団体・世代で集めやすいところがあると思うため、そういったところに協力をお願いできればよいと思う。

先ほど山岸 愛委員の発言にあった、諏訪区のホームページに載せることもよいと思う。

ただ、同じ人が 2 回・3 回と回答しても困るため、この辺の調整の仕方が難しいと思う。

一番意見の多かった、「③抽出調査」で進めていくことができればよいと思う。

調査対象とする団体については、記載されている団体以外にもあると思うため、正副会長と事務局で相談して、決めて、次回の会議で確認したいと思う。

それとあわせて、どういった設問になるのかということも含めて、最終的に決めていくことが多かったように思っている。

以上で次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」を終了する。

次に次第 2 議題「(3) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で次第 2 議題「(3) その他」を終了する。

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・次回の協議会について説明

【川上会長】

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：3月20日（月）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室
- ・ 内容：地域活性化の方向性について

自主的審議について

最後に、自分より1つ、お知らせである。

諏訪小学校は現在、全学年が複式学級となっていることから、保護者と市教育委員会の間で、学校の適正配置について意見交換が行われている。

そうした中、来月、住民を対象とした説明会が開催されることになり、その案内が2月下旬に広報と一緒に諏訪地区の全戸に配布されると聞いている。

前々からそういった話は出ていたのだが、いよいよ現実になるのかと思っている。

市としては統合等を推奨しているわけではないが、住民の意見を聞きながら進めていくことになるかと思う。

その後、市教育委員会から地域協議会にも説明があると思う。

地域協議会委員の出席は必須ではないが、あらかじめ情報提供させていただく。

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。